

刊夕 日三月二十



定価 一冊五銭六厘 一月五拾五銭 郵費五銭
 廣告料 五銭以上 一週一行金五拾五銭
 印刷部 常務 毎日新聞社
 發行所 常務 毎日新聞社
 印刷所 常務 毎日新聞社

玩具の興へ方 (2)

平第二小學校長 千葉 右近

七、八歳からは玩具に對して、子供自身餘程研究的になりなすし、注意深くもなり手足の働さも整つて参りますので、木工道具とか手藝園藝の用具に類するものや、機械玩具、工夫のいるものなどと進めて行きます。お手玉、羽子板、コマ、凧等のほんとうの面白みも此頃から出て來るので御座います。それに、玩具を作る材料を興へるのも變に良い事だと思つて居ます。斯う云ふ風に年齢に合せて行くので御座いますが、たゞ年

から申しますれば同じであらう、其子が末つ子で毎日の遊び仲間がお兄さんやお姉様ばかりであるとか、或は一人つ子で大人相手に暮して居ると云ふ場合と、長女や長男で小さい作らも下の妹や弟たちを遊ばせてあげて居ると云ふ場合とは、受ける刺激が違ひますから大分氣持に開きが出て來ると云ふ事を考へに入れて置かなくてはなりません。一般的に申しますと、其子の年齢に當てはめて見て少しばかり程度が高いからと云ふ様な玩具、例へばも

う直ぐ立つちが出來相など思はれます時分に立つてつかまる様なものとかひつばつて動かす様なものと云ふ具合に一寸進んだ玩具を二加へますと、下度一つか二つ年上のお友達を持つ様な幸福があるかと思はれます。

又コドモにはいろ／＼な性質や特徴がございますので大きくなるにつれて其れがだん／＼あらはれて参りますから、其中の良方方を伸す爲にまた好ましくない方を擴がらせない爲におもちゃの選び方を考へてみる必

- 朝味噌汁——芋がら 小付 納豆
- 晝野菜煮しめ
- 晩さつま芋 飯 豚肉と大根のすまし汁

要も御座います。例へば動物園ごっこなら何時までして居つても、不思議な位ちつとも飽きないで楽しんで居ると云ふ様な子供は、無理に他のおもちゃの方へ向かへさせないで其遊びがだん／＼進歩する様に、動物の數を殖してあげたり小屋の材料を興へたりすること、或は又、特別に亂暴癖がついて來たと云ふ様な時

には面白くも落ちつかない様な出来事にならない様に、一緒に遊ぶやうに致しますと幾分それ／＼の場合の役に立つと存じます。おもちゃの數ほどの位あげたら良いかと云ふ事も問題になります。二體コードモは注意が長く續かず直に飽きてしまひ易いもので御座いますから、暫く間をおいて次の物を一つづつ足して行く様に致しまして、一度新しい物を幾つもあづける事は止めた方が良ろしう御座います。それは唯無暗に氣を散らせるばかりで御座いますから……。

そして、大分飽きたが來てもう其のおもちゃを餘り可愛からぬ様になりましたら、當分別の場所に藏つておきまして時経てから取出して見せますと、其處に新しい興味を覺え前とは違つた遊びを考へ出したります。尤もこの事は、さうしげ／＼同一の物についてして良いとは考へられませんが……。

要も御座います。例へば動物園ごっこなら何時までして居つても、不思議な位ちつとも飽きないで楽しんで居ると云ふ様な子供は、無理に他のおもちゃの方へ向かへさせないで其遊びがだん／＼進歩する様に、動物の數を殖してあげたり小屋の材料を興へたりすること、或は又、特別に亂暴癖がついて來たと云ふ様な時

要も御座います。例へば動物園ごっこなら何時までして居つても、不思議な位ちつとも飽きないで楽しんで居ると云ふ様な子供は、無理に他のおもちゃの方へ向かへさせないで其遊びがだん／＼進歩する様に、動物の數を殖してあげたり小屋の材料を興へたりすること、或は又、特別に亂暴癖がついて來たと云ふ様な時

文藝募集

七五三お祝

七五三の祝

御贈答に

鯉節

季節料理

よせなべ

かきなべ……三〇
 はしなべ……同
 いかなべ……同
 ねぎまなべ……同
 あんこなべ……同
 ちりなべ……三〇
 あなごりなべ……三〇
 たらちりなべ……同
 酢のもの……二〇
 等々始めました何卒御試下さい。

平二警察署通り
 魚清食堂
 電話六三二

魚問屋

志賀盛栄商店

看護婦急派 求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七

室内を改造して 石川の食堂……開始致しました

何卒御愛顧の程を……

食堂献立

牛なべ 御一人前 三十錢
 御飯 新香つき 十錢
 上酒 本 三十錢
 特製石川の牛井 二十錢
 外御好みに依り調製仕り候
 女中御心付け御辭退致候

ドーゾ氣分の良い食堂で御手軽に御家族同伴の上御試食下さいませ

忘年会、新年會、會合は 特に御相談に應じます

牛肉 割烹 御料理 石川亭 電話四三番

お子様の靴

常に新型! 豊富な良品! と御評判の

キクチ靴店のサービス

是非お買い上げ下さい

平・停車場通り 電話六五九番

吉田眼科病院

平細屋町 電話六八番

醫學士 吉田久雄

大火力発電所を

平町か小名濱に

東北振興會の計劃に基き 常磐各炭礦が猛運動開始

昨日首脳部會議

磐城、入山、古河、大日本の四大炭礦で組織する常磐石炭礦業會は昨日午前十時から磐城野野記念會館に首脳部會議を開いたが會議の内容は豫て東北振興會が東北地方に大火力發電所を建設すると發表したのに基づき同發電所を平町か小名濱町に設置方を誘致する爲めに石炭生産量並に輸送距離等を數字や統計に詳細に現した參考資料を作り主務省に猛運動を開始する事になつた

臨時貨物列車

常磐線各驛の歳末用貨物は最近益々活潑な動きを見せて來たので平驛では是が対策として十二月一日から卅一日迄平一田端間二八二、用四列車、平一水戸間二八三、二八五列車、平一郡山五一列車、磯原一勿來間八七、八八等七本の臨時貨物列車を運轉する事になつた

凶作應急工事

竣工のトツプ

豊間道路測溝工事完成

十年度凶作補助應急施設工事は玉川村矢田川橋梁工事を筆頭に廿七ヶ所約七萬圓で郡内に施行されてゐたがこれら凶作應急施設工事中工費三千圓で工事を去月八日以來施行してゐた豊岡村大字豊岡地内道路測溝工事はこの郡内斯の種工事はトツプを切つて竣工、明四日小林平土木監督所長が工検査のため出張する

郡下教員の

圍碁大會

八月湯本町で

郡下教員圍碁愛好家よりなる圍碁會(會長は千葉半第二校長)の第二回大會は來る八日(日曜)午前八時半から湯本町山形屋旅館に開かれるが十等まで賞品を呈する由

小名濱町

歓迎迎會

に於ける今年度入、除隊兵の歓迎迎會は來る十三日午後一時から同町小學校講堂に於て催される

賀狀洪水に

平局の用意成る

平郵便局が前年度に取扱つた年賀郵便は市内の引受數が約四十萬枚を越して濱三郡各局に平局を経由して配附されたのが百三十萬枚に達し正に賀狀洪水を現出したが本年も平局の年賀準備は既に是れを了し此の程本省より年賀用葉書二百五十萬枚と切手五十萬枚が到着したので倉庫内は端書と切手の山を築いて居る、尚ほ臨時集配手區分係等二十名を經驗者學生等から試験の上採用する事になり近く募集すると

學生旗行列

明四日全市を諫る

祝奉生誕御

第二皇子殿下御誕生の奉祝旗行列は明四日午前十時出發し平町三小學校はじめ在平公立學校生徒合計八千名が参加し四班に分れて奉祝大行を行ふが路順は左の如く決定した

△第一班(平商 佐賢 青年 平第一)才樋小路 鍛冶町一南町一新川町一五丁目一本町通り一材木町一公園一歸校
△第二班(警女 藤田 平陽 平第二)田町一白銀町一太田町一五丁目日本

される

平第一校の

十二月行事

平第一小學校の十二月行事は豫定左の如し
△四日奉祝旗行列△五日職員會△九日ストブ使用開始△十日教育勸告記念日△十三日十三日會△十五日郡下教員籠球大會△十七日青年學校查閱△廿三日兒童貯金調△廿四日校内唱歌會△廿五日大正天皇祭△廿七日學期末大掃除△廿八日終業式

神谷分場

特別農事傳習

神谷農事試驗分場特別農事傳習會は來る十日午前九時半より同所に於て郡山本場内山技師の「金肥の効用と施用法に就いて」の講演をなされる

通信能率

平驛向上デー

平驛では昨日より實施された水戸運輸管内の電話電報通信向上の爲め時間別電報取扱數、電話交換使用度數、電報經過の時間調査等を行つて參考資料を集め通信能率の向上を計る事になつた

平商實彈射擊

平商業學校四、五年生の實彈射擊は來る七日午前八時より午後四時半まで神谷村地内在郷軍人分會東都射擊場で舉行される當日は職員十九名が参加の筈

關係識者の

意見を聴く

商友會委員が平商友會では今日午後五時よりマルトモホールに平町學務委員、市制調査會社、教育委員、顧問、町會平副議長を招き母校新築促進に關して意見を拜聴すると

補裝完成!

雨除、日除に敷島のヒヨケを

十二月年勤續

田人消防組頭

田人消防組頭油座次郎氏は去月廿八日十二月年勤續して過般の同村消防檢閲を機として辭職したが植田消防協會では金時計を贈呈表彰した、後任組頭は油座太三郎氏である

七五三お祝服賣出し

男児オリーブ(三四五) 五十四圓
男児洋服(三四七) 五十四圓
女児オリーブ(三四五) 四十五圓
女児洋服(三四七) 四十五圓

中學生外套 賣出中
女學生オリーブ

婦人コート 新型入荷

番六三四電

店服洋堂札正

四平

玉川消防檢閲

玉川村消防組及少年火防隊の檢閲は今日同日村小學校庭に於て小名濱地警部補臨席の下に行はれた

平町入事

回出生

△北目町一〇當時北海道樺戸郡月形村字神岡町鈴木喜八氏四女信子さん

回婚 姻

△材木町三二渡邊幹雄氏大野村大字日岩字戸ノ内一八高木さん

回死 亡

△田町三八當時東京市向島區島町七丁目八六山口信行さん(一ツ)

平小鐵道

測量が終る

土地買収は年頭早々に

平小鐵道の三線定線測量は其後進捗既に任務の大半を終へたので近く東京本省に引揚げる筈であるが、潰地買収交渉は遅くも明年一月頃から開始され本年度内には決定路線に盛工事開始される模様である

壯烈殉職を慕ふ

夏井村の追悼會

同村藤間部落の墜落飛行士 百ヶ日を誓む有志の美譽

去る八月廿五日、夏井村大字藤間部落上空を飛行中不幸同所に墜落壯烈な殉職を遂げた陸軍航空隊瀧谷憲二曹長並に機長正二伍長の百ヶ日追悼會はその壯烈無比の殉職を追慕する同村有志の發起で明五日前九時半より同村安養寺に於て行はれることになった

國防資源に

平水道調査

平町水道部に對して今回國防資源に關する調査の設備を圖つたため縣總務部長より左記の如き水道事業に使用せる鉛管及合金鉛管の敷設額調査を依頼された

平町は「平町年度」平町は短期現役兵 明年は年度短期現役兵の調査をなすことになり本日町内第一第二、第三各小學校に對して教職にあるものにして明年短期現役兵として徴兵検査を受けるべき者及富町に本籍を有し徴兵適齡前師範學校を卒業し小學校の教職にあるものにして明年短期現役兵として徴兵検査を受けるべき者の有無を明後五日まで調査ある様示された

松葉杖

遙々應召

川前村字川前備歩兵一等兵松本安五郎(三)君は古河炭礦好間坑に坑夫として働いて居るうち去る九月負傷し右足首を切斷したが昨日若松歩兵聯隊に召集されたので松葉杖にすがりながら應召して係官を感謝させられた

新年賀切手

郵便局で去る一日より賣出した年賀郵便用新一錢五厘切手は本月廿九日以後でないで使用出来ないが一般の好奇心も手傳つて二日間早くも五百枚賣出して居る

自動車啣筒

四倉購入

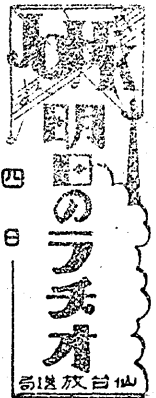
四倉町は現在防火機關として自動車啣筒一臺、ガソリン啣筒一臺を有して居るが更に防火施設を充實する爲

平町農家借財

一戸當り五百廿圓

首の廻らぬ農家窮乏經濟危機 馬鹿にならぬ負債一萬三千圓

平町は町在農家七十九戸に對して九月末現在を以つて借金は幾許あるかと調査した處負債戸數は總戸數の約三分の一に當る廿五戸で一萬三千圓とあり一戸平均に見ると五百廿圓の馬鹿に出來ない數字を示して苦境にある農家經濟の危機を物



今晚北西の風晴 後曇り明日は北東の風様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の侍問 童謡と唱歌 若子縣日誌 尋常高等小學校児童
- 後六、二五 青年の時間 「青年と壯年」丸山鶴吉
- 後七、三〇 講演「日伯貿易の將來と移民」牛生銀三郎
- 後八、〇〇 連続講談「大

電氣行火

錦村の火事

錦村字中田早稻良治方から一日午後九時頃發火、住宅を半焼して鎮火したがこの損害八百五十圓、原因は同居入中村吉五郎が電氣行火のスイッチを入れ放したまま忘れて置いたため

安い自轉車

一臺なんと五十錢

無資本の泥棒稼業大安賣?

湯本町大字湯本古物商五十嵐寅五郎は同町字天王崎居住入遠野村字根本生の飛田巖より去る九月六日飛田が何れよりか窃取し來たつた古自轉車を情を知つて一圓で買つた外同月廿三日には五十錢その他十月五十一日、十五日の兩度に買つて何れも前記飛田の窃取し來たものを五十錢或は一圓で買受けてゐたこと發覺粧品故買で平署に檢舉取調へ中

江名理髮奉仕

町理髮業組合は今回の健康週間に際し期間中同町小學校兒童の無料散髪を奉仕する

- 前七、〇一 英語講 傳
- 久岡原
- 前七、三〇 朝の修養「釋尊の成道」(二)花田凌雲
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前九、一〇 料理献立「牛肉の味噌煮」宮城縣食肉協會
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「家庭用品の知識」一主食 品坂口武之助
- 後一〇、〇五 吹奏樂 海軍軍樂隊
- 後二〇、〇〇 奉祝講演「親王殿下の御誕生を御祝ひ奉りて」東北常大總長本多光太郎
- 後二、四〇 小學高二の時

- 問「音樂鑑賞歌曲の發想に就て」近藤義次
- 後三、一〇 教師の時間「學校々食の體驗」西口匠
- 後六、〇〇 子供の時間 奉祝童謡唱歌人會 東京札幌仙臺名古屋松江熊本大阪
- 後六、二五 基礎英語講座 (二)八、岡倉山三郎
- 後七、三〇 詠曲録 木梅若萬三郎他
- 後八、〇〇 浪花節「日本入こゝろ有り」東家樂燕
- 後八、三〇 長唄 宮比御神樂吉住小三郎他

平裁判たより

- △勿來町窪字明補樹木縣那須村生れ古物商小池辰男
- (三)は本籍地の免許で去る八月から勿來町で營業した廉に依り古物商取締規則違反で略式罰金に處された
- △双葉郡請戸村山竹農泉義野が各二十圓の略式罰金に

年商戰迫る!

店頭宣傳と 敷島の切

抜ハタ

五圓に處された

忠(三)は無免許で昨年十月下旬から四月末まで居村沖合で廻轉推進器据付の機船で底引網魚撈を行つた廉で略式罰金四十圓に處された



明治太平記

(作) 寺山桂史
(監) 野口松世

第二百九十回

生者死者 (六)

「いや、その方たちこそ神妙にいたせ。馬車をおりろ」
「おりろ」
「神妙にいたせ」
選卒たちは口々にわめいた。

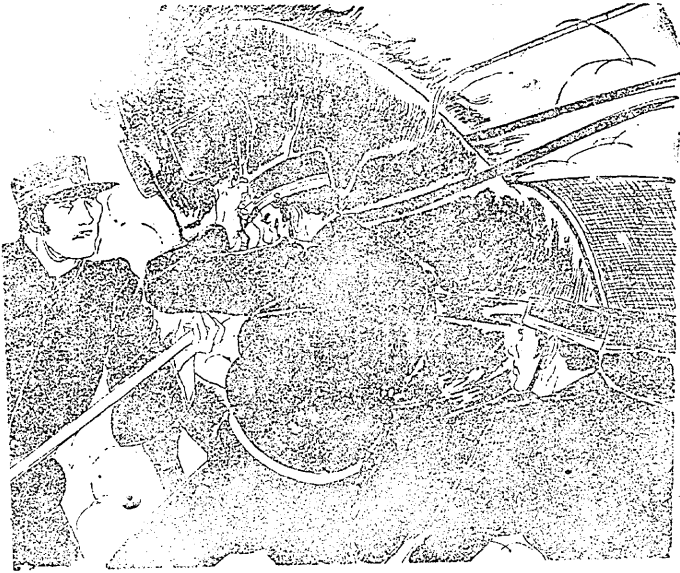
「いや、なか／＼おつて、馬車をおりはせぬぞ。われ／＼は尾張坊までゆくのだ。銀座尾張坊へ赴いたら馬車をおりろ。」
「黙れ！ この上とも安寧をみだすにおいては、容授はせぬぞ」
すると、茂平次もその言葉にまねて怒鳴った。

「黙れ！ この上とも押し止めるにおいては、容捨はせぬぞ」
「おのれ」
「おのれ」
「官吏を侮辱いたすか。それッ！」
「無禮者！」
「無禮者！」
ら卒の二隊は、一齊に三尺棒を振りかぶつた。

「無禮者！」
こちらにも負けてはあらずに無禮呼ばわりをして、鞭を振つて馬の尻を叩いた。馬車は躍り上つた。

とら卒の人垣が崩れた。けれど、すぐさままた新人の人垣は馬車の前方を断つた。

そのうちに、一人の勇敢な若卒は、躍り上る馬の胸先へ飛びこんでいつて、手づなをしかと執つた。



「神妙にいたせ」
さういつて、威厳のある眼をあげて、茂平次をばたと睨みつけた。
「どけい」
茂平次は、鞭を振上げ上半身をのびしてそのら卒の面上を打つた。けれど彼はひるむ色も

く憤慨者をねめつけた。烈しい鞭の打撃をうけて、彼の顔に血がにじみ出た。
「どけい、どかぬと踏み殺すぞ」
振上げた鞭で、こんどは馬の尻ツペを叩いた。ふた、び巡察の面上を打つ氣にはなれなかつたのだ。一人の憤むべき西洋人を討伐するため、同胞を傷つけるのはまらがつてゐるとおもつたからだ。

だから、巡察を去らしむるために、馬の尻ツペを打つたのだ。しかし、手づなをひさがつた巡察は、

進行を妨げるとこれだ。さういつて、ウエルズの胸に突付けてゐるあひくちをひらめかしてみせた。
「うわア……」

と、悲鳴とも、怒號ともつかぬ叫びが群衆からあがつた。
「おまへたちは、決して西洋異人をおそれてはゐないだらう。この、異國のけだものたちの、狂暴慢心を、われらと同様に憎悪してゐるにちがひない。たゞおそれるゐるのは、漢學思想にかぶれ、また西思想に心酔する現代日本の指導者たち

だ。けだそれら……し、教育し、改革して、日本を西洋の屬領たらしめんとしつゝある」
「うわア……」

と、また群集は叫んだ。悲鳴でも、怒號でもなく、それは歡聲に近いものだらう。
「われ／＼は、この腐敗墮落した内政を、建國のむかしに歸さねばならん。支那思想に中毒し、西歐思想に心酔して、つひには奴隷民族となることをおそれぬかおまへたち」
「うわア……」

レストラン 平會館
電話 624

平屋洋品店
平町田町通電話六五八番

祝七五三

御寫し遊ばせ

お子様方

可愛いお姿を

御寫眞に！

常日は御祝として焼増壹枚御進呈いたします

平町寫眞師組合

組合員名(いろは順)

- 林 寫眞館
- 戸田 寫眞館
- 岡山 寫眞館
- 大野 寫眞館
- 太陽 寫眞館
- 中島 寫眞館
- ライト 寫眞館
- 青木 寫眞館
- アサヒ 寫眞館
- 齊藤 寫眞館
- サクラ 寫眞館
- 三光館 スタジオ

歯科口腔外科 レントゲン科

平町土橋通り
電話三一〇番

原齒科醫院

院長 東京齒科
院 原 精一

食事を兼ねた
酒場

冬のサロンの 暖房設備が出来ました

御家庭の延長として
是非御利用下さいませ

温かい ミルク(牛乳) 十銭
御飯物 リアトシ紅茶 十銭
お菓子 十五銭

平町田町通三五番 男給の店 イハキ サロン